

## ごあいさつ

## GREETING



さいたま市スポーツ少年団  
バスケットボール部会 部会長

**兵藤 明子**



株式会社リソー教育  
代表取締役社長

**天坊 真彦**

『TOMASCUP 2018第7回さいたまミニバスケットボール大会』の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

昨年に引き続き、株式会社リソー教育様をはじめ、多くの関係各位のご尽力を賜り、この大会が開催できますことを本部会一同感謝申し上げます。

本部会は、さいたま市内のスポーツ少年団バスケットボールチームにより組織されております。平成30年度チーム数は男女合わせて97チーム、登録選手は約2,000名になります。

主な大会は、小学生対象のミニバスケットボール大会で、春季大会・秋季大会（リブコカップ）・シティカップ招待大会・冬季大会の他、埼玉県バスケットボール協会U12関連の大会となります。また、中学生対象のジュニアリーダーバスケットボール大会も開催しております。

この度開催するTOMASCUP 2018は、選手数が少なく試合の機会があまり無いチームでも、参加することができます。大会で多くのチームが一堂に会し、対戦や交流をできることで、よりいっそうバスケットボールをできる喜びを実感してもらうことや、チームワークが大事な競技を通して、仲間と協力すること、人への思いやりの心を養うなど、多くの目的を持って開催しております。

参加される選手の皆さんは、プレーでは日頃の練習の成果を存分に発揮していただくとともに、他チームの選手との交流を図り、友情を深めていただければ幸いです。

2020年の東京オリンピックでは、バスケットボールの全ての試合を、さいたま市内の「さいたまスーパーアリーナ」で行います。この機会にバスケットボールが更に盛んになることを願っております。

最後に今大会の開催にあたり、株式会社リソー教育様、リソー教育グループ様、一般社団法人バスケットボールジャパンアカデミー様、すべての関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、さいたまのミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で7回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後ともいえるこの大会を、こうした形で応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加に至るまでの練習、トレーニングを通じて、バスケットの技術の上達や体力の向上だけでなく、ライバルとの競い合い、フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・勝利の喜び・負けたときの悔しさ・思いやり・友情といったこれから生きていくうえでとても大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとっては、勉強ももちろん大切ですが、おけいご事・習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。それらを通じて様々な目標に、正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援を始めとする社会貢献活動に取り組んでいきます。

日本のバスケットボール界から2人目のNBA選手が誕生したと聞きました。バスケットボールにおいても、世界で活躍するということがもう夢物語ではなくなっているようですね。今日の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さんのチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。